| 資料番号 | 4 |
|---|---|

# 岡山県の県立高等学校の再編整備の事例

## 1　和気閑谷高校

### (1)　設置の経緯

平成17年度，備作高校との再編により，「普通科」と「キャリア探求科」の２学科を併設し，地域の拠点校として整備

### (2)　キャリア探求科の特色

・1年次でビジネス・情報・福祉の専門科目の基礎的な内容を共通に学習し，２年次から３つの系（ビジネス系　情報系　福祉系）に分かれて専門を深めるための科目を選択して学習する。

・専門科目「キャリア探求学」を設置し，働くことの意義や専門的な知識・技能を習得することの意義を理解させることを通して，主体的に取り組み，進路を主体的に選択する態度を養う。科目選択や進路ガイダンス，自ら設定したテーマについて，調査・研究・プレゼンテーション等の学習を行う。

・総合的な学習の時間「閑谷學」では，閑谷学校の学びの精神を継承し，地域との連携を重視しながら，自ら学び，自ら考える姿勢と，問題解決していく力を身に付けるための様々な学習を行う。

（文部科学省「平成23年度 高等学校教育に関する推進状況について」（平成23年11月）による）

## 2　井原高校

### (1)　設置の経緯

平成 18 年度，旧井原高校と精研高校を統合して，北校地（旧井原高校）に普通科，南校地（精研高校）に園芸科，家政科を設置した学科総合型の高校として整備

### (2)　成果

・普通科の進学実績の向上（国公立大現役合格者数の増加）

・部活動の活性化

平成20年度：軟式野球部が全国高等学校軟式野球選手権大会に初出場

平成22年度：新体操部がインターハイ団体戦に出場

### (3)　校地制について

・両校地での施設，設備等（二つのグラウンド・体育館・武道場）をフルに活用することにより，学習活動や部活動の活動場所が確保でき，活性化に役立っている。

・両校地で授業を担当する教員の負担や合同行事における生徒の移動，生徒会活動，校務分掌など，学校運営上の課題がある。

・校地制は様々な課題があるが，学科の特性を生かす施設の移転あるいは新設を考えると，現状維持はやむを得ない。時間をかけながら一体感を作り出していきたい。

（岡山県高等学校教育研究協議会 第4回会議（平成22年10月）の説明資料（意見陳述）による）